

墨水会だより

題字：32回 石出直子

(旧府立第七中学校) 都立墨田川高校全日制同窓会 発行責任者 小川浩平



南側の駐車場から見た七生寮

“七生寮は百一年の歴史に幕をとじる事になりました”

墨田川15回 谷澤 尚樹

我々七高生が長年利用してきた思い出の七生寮は、令和五年をもってその使命を終える事になりました。大正十二年に星野氏の別荘地を購入し、沓掛寮（七生寮）を建設しました。当時は自炊で合宿等が実施されていました。その後現地の方に管理人をお願いし林間学校、移動教室、奉仕体験実習、勉強合宿、クラブ合宿が実施されてきました。現地の方が退職された後も管理人を給食センターにお願いし運営されてきましたが、ここ十年は墨水会の財団理事が管理をし、運営してきました。又平成二十六年以降は生徒の利用がなくなり、卒業生と一般の人達の利用となって、毎年百名程度の利用者数となりました。この様な状況の中、今後七生寮・楽水寮の二寮を維持してゆくのは、財政的に困難であり、また管理人問題や老朽化に伴う改修問題等で無理ではないかとの結論に至り、残念ではありますが“星野リゾート”に売却する事に決定し現在交渉をしており、今年中には契約を終了する予定です。

目次

会長挨拶	2頁
学校長挨拶	3頁
事業報告	4・5頁
令和5年度会計報告	6頁
令和6年度予算	7頁
一般財団法人 七星会 収支計算書	8頁
寄付金一覧	9頁
美汀会会長挨拶	10頁
東京校歌祭について	
井上顧問 追悼文	11頁
宮本雄司氏紺綬褒章受章について	
同期会・部活動OB・OG会報告	12・13頁
第76回生 合格実績一覧	14頁
海の寮の今昔・写真	15頁
寮の写真 主な部活動実績 編集後記	16頁



会長挨拶

墨田川18回 小川 浩平

同窓会の皆様こんにちは。一昨年梶原徳二前会長の後を継ぎ、同窓会会長の重責を仰せつかりました、昭和41年高18回卒業の小川浩平です。

皆様におかれましては、日頃から同窓会活動に対し多大なるご支援並びにご協力を賜り、深く感謝申し上げます。我々の日常生活から社会経済情勢に至るまで大きな影響を与えた新型コロナウイルス感染症が第5類に移行して一年余り。まだまだ予断は許さないとはいえるものの、世の中はすっかり以前の活気を取り戻しています。

2022年10月コロナ禍で迎えた墨田川高校創立100周年は、多くの会員の皆様より寄付金を賜り前会長梶原氏を先頭に役員の方々により計画した全ての記念事業を実施出来ましたこと、皆様のおかげと感謝申し上げます。

さて、昨年の会報誌会長挨拶で課題としておりました一般財団法人七星会所有の楽水寮・七生寮2寮維持問題ですが、軽井沢の七生寮を売却し今後は楽水寮に資金を充当する案を検討してまいりました。軽井沢の寮は大正12年に取得し、7月21日に林間学校を実施

して以来、夏季合宿として一年次生が毎年利用してまいりましたが13年前に中止となり、その後は現役生の利用が無く軽井沢という立地上暖房施設も無く7月後半〜8月後半までの約一カ月間、谷澤・清澤副会長が交代で管理人を10年間担い、一般の方々も含めて利用できる体制で開寮運営してまいりましたが、両副会長の高齢化による体力面の負担が大きく一カ月間と短い期間限定の管理人補充も確保が困難である現状を鑑み、現役生の利用を目的とした2寮ですがその存在自体の意義が薄れ、建物の老朽化による雨漏りなどが発生し、修理・改築にはそれ相当の資金投入を行う必要となっております。

七生寮売却に関しましては、星野リゾート、高級別荘運営会社、個人等と折衝してまいりましたが永年にわたり管理運営をお願いしておりました星野リゾート様の買取価格提示が、不動産鑑定士の査定を大きく上回ったため、12月現在元会長海谷利宏氏(現顧問・弁護士)を中心として最終折衝を行っております。今後は寮問題検討委員会において年間利用が可能な館山の楽水寮に

資金をどの様に投資して行くかを早急に決定し、会員への周知を図って実施してまいる所存です。また、改めて同窓会の存在意義を考えますと、会員各位の交流・親睦を図る活動を推進し母校の発展に寄与する応援団になること、これに尽きると思えます。その為に若い方に役員参加して戴き、新しい感性・手法を取り入れいろいろな形で参加を促していこうと考えております。

同窓会の事業は毎年課題をもって同じように進みますが、「継続は力なり」という格言のように次の世代へと繋いでいくことが私の役目と認識しており、同窓会活動を推進していく所存です。今後も引き続きご支援、ご協力の程よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、同窓会の皆様は今後ますますのご健勝とご多幸を祈念すると共にご指導・ご鞭撻、よろしくお願いいたします。



令和6年 墨水会 役員一覧表

会長	小川 浩平 (高18回)
副会長	横井 正男 (高13回)
	谷澤 尚樹 (高15回)
	竹鼻 宏子 (高15回)
	加藤多恵子 (高15回)
	清澤 健一 (高17回)
	鈴木 憲康 (高18回)
	高橋 幸男 (高18回)
	山田 温 (高28回)
	山内 雅哉 (高30回)
	宮本 雄司 (高30回)
	藤原 英明 (高43回)
	杉崎 真嗣 (高45回)
幹事長	山内 雅哉 (高30回)
副幹事長	藤原 英明 (高43回)
会計	加藤多恵子 (高15回)
	清澤 健一 (高17回)
会計監査	宮本 雄司 (高30回)
	石井 温 (高31回)
顧問	海谷 利宏 (高1回)
	泉妻 秀一 (高8回)
	梶原 徳二 (高4回)
相談役	内田 博万 (高4回)



経験を学びに、学びを力に、 力を自信に

校長 渡邊 範道

令和七年は、天候も世の中も穏やかな年明けでした。早いもので私も着任してから三年が経とうとしています。振り返ればこの三年間、創立百周年記念事業や部活動支援、図書や備品の寄贈など本校の教育活動全般において、梶原前会長、小川現会長はじめ墨水会の皆様方には、本校の教育活動に対する多大なるご理解ご協力を賜りました。これまでのご支援に改めて御礼申し上げます。

リニューアルされた図書館の自習スペースでは、朝七時半から夕刻六時過ぎまで熱心に自習する生徒たちの姿がすっかり定着しました。大学入試本番を目前に控えた三年次生だけでなく、一、二年次生も、集中できる学習スペースとして、それぞれが落ち着く座席を見付けて自習に励んでいます。また、「総合的な探究の時間」の文献資料として寄贈された百七十冊もの大学教養レベルの図書も、探究の内容をレベルアップするのに大いに役立つています。また、百周年記念部活動支援物品としてグラウンドのベンチ四台が寄贈されました。さらに、水泳部が男子リレー種目で関東高等学校水泳競技大会に、女子個人種目で全国高等学校総合体育大会（インターハイ）に出場した際には、遠征に係る旅費等の公費不足分を墨水会からご支

援いただきました。ここにご報告し御礼申し上げます。

今年度は、七高生が様々なことに挑戦し、成果を残した一年となりました。前述した三年連続インターハイ出場の水泳部だけでなく、個人女子七八kg級で関東選抜大会に出場した柔道部、コンクールA組で都大会に、さらにシンフォニックジャズ&ポップスコンテストで全国大会出場を果たした吹奏楽部、各種全国大会で入賞した書道部など、関東や全国レベルの大会に出場したり入賞したりする部がいくつもありました。また、部活動だけでなく、地理歴史科の授業などで取り組んだ「一緒に読もう！新聞コンクール」において、応募作品や学校全体での取り組みが評価されて東京都最優秀校に選ばれるなど、本校の教育活動のレベルの高さを実感する嬉しい出来事が続きました。

一方、「地域と共にある七高」らしい取り組みが目立った一年でもありました。「社会を明るくする運動」中央集会での吹奏楽部の演奏、昨年度のダンス部や女子バレー部に続き、生徒会役員と吹奏楽部生徒による痴漢撲滅や闇バイト防止など向島警察署のキャンペーン活動への協力、茶道部と邦楽部生徒等による墨田特別支援学校との学校間交流、東京青年会議所墨田区委員

会主催の模擬裁判には一、二年次生が公民科夏期講習の一環で参加、美術部生徒が応募した明るい選挙啓発ポスターコンクールで墨田区最優秀作品入賞、天文部生徒による第一寺島小学校での観測会の実施、生徒会役員と墨田区議会なども文教委員会委員との懇談会実施など実に数多くのイベントに参加や協力を行いました。こうした協力や活動に対し、都知事や警視庁生活安全部長から感謝状をいただき、墨田区にある都立高校として大きな存在感を示すことができました。

授業や教育活動の面でも、様々な取り組みを行いました。海外学校間交流推進校指定を契機として「国際教育プログラム」を推進しました。大学を訪問し留学生と交流したり大使館を訪問したりする国内プログラムに加え、夏季休業中の八月十八日から二十二日までの三泊五日の日程で二十名が参加してシンガポール研修旅行を実施しました。現地の高校を訪問し高校生と交流を深めたり、国立シンガポール大学を見学したり、博物館や市内見学を現地の大学生と行うなど様々な交流を体験しました。帰国後は、七高祭や全校集会、中学生向けの学校説明会等の機会に研修内容を報告するプレゼンテーションを行いました。回を重ねるごとにプレゼン技術も上達し、生徒は自信に満ちた英語で説明を行いました。また、大学受験で有利となる資格取得を支援するために、「校内予備校」を活用した英検対策講座も予想以上の応募者を集めています。国際教育以外にも、千葉大学と連携した「総合的な探究の時間」も探究活動の充実と向上が図られ、今後の「総合型選抜」への活用が期待されます。さらに、教職志望の希望者による「七高教職志望者応援プログラム」に一、二年次生徒

二十七名が応募し、墨田区と足立区の小、中学校七校で二日間の学校体験を行いました。

このように、日頃の授業や部活動、伝統ある体育祭、七高祭、合唱祭の三大行事などに果敢に挑戦し、たくさんの人と出会い、経験を重ねることによって多くのことを学んできました。私は、学校の役割とは、こうした経験を通じた学びの機会を若い人たちの限られた時間に、できる限り多くかつ豊かに提供し、学びから得たことを力にするよう指導・助言するとともに、蓄えた力を自信にして次のステップに送り出すことであると考えています。今後も、七高生が自信をもって様々なことに挑戦できるような支援していきます。また、そうした挑戦が一つの成果である大学合格実績としてあらわれるよう指導を進めていくことは、進学指導推進校としての役割を果たす上でも非常に重要です。確実に合格実績を積み上げるとともに、臆せずにより高い目標に向けて志望校に挑むためには、その裏付けとなる学力が必要なのは言うまでもありません。次年度に向けて、合格実績を向上させるための生徒の学力と志望大学レベルに合った指導計画である「七高スタンダード」の整備や学力向上を推進する組織的取り組みをより一層充実し、進学実績の向上に努めて参ります。こうした取り組みや生徒の活躍の様子は、学校運営連絡協議会や本校ホームページで公開していきます。墨水会の皆様におかれましては、これからも本校の教育活動の益々の充実と発展のために、変わらぬご支援とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

令和5年度 墨水会事業報告

令和5年7月1日～令和6年6月30日

墨水会は総会で選出された役員会と各学年より選出された常任幹事会により事業を行ってきました。事業の主な内容は、会員相互の融和と墨田川高校の拡充発展です。

墨水会は財団法人七星会にて墨田川高校PTAである美汀会とともに、2寮の管理運営をしてきましたが軽井沢七生寮を売却し館山楽水寮を補修または建て直す案が寮検討委員会より提案され、そのための交渉、準備が進められました。また学校支援として百周年事業の一環として寄贈品事業に取りかかりました。詳細は活動表を参考にして下さい。

日 時	会議・事業名	参加人数	議 題、内 容	場所、会場
令和5年				
7.10	役員会	12	総会の件、常任幹事会準備の件、七生寮売却の件 など	梶原事務所
7.12	常任幹事会	21	総会の件、七生寮・楽水寮の件、寮売却の件 百周年の寄贈品及び今後の進め方の件 など	高校 会議室
7.14	寮管理・運営	1	楽水寮新管理人と打ち合わせ 谷澤	楽水寮
7.15～8.27	寮管理・運営		楽水寮 44日開寮 大人273人 子供50人 幼児14人	楽水寮
7.25～7.26	寮管理・運営	11	七生寮開寮準備 谷澤 清澤 加藤 竹鼻 杉崎他6名	七生寮
7.27～8.20	寮管理・運営		七生寮 7.27～8.20 七生寮開寮 大人101人 子供9人	七生寮
8.21～10.29	寮管理・運営	6	七生寮 45回生(杉崎他5名)による管理人なしでの開寮 大人16人利用	七生寮
8.18	役員会	10	次年度墨水会人事等の件	如水会館
8.20	役員会	9	七生寮視察後の寮問題関連の件、墨水会活動の件	七生寮
9.1	常任幹事会	24	総会準備・役割分担の件、案内はがき配布など	高校 会議室
9.9・9.10	高校文化祭見学		役員若干名	高校
9.11	役員会	7	総会準備の件 役員人事の件	宮本会計事務所
9.25	役員会	12	会長の件 会計担当 会計事務局の件 総会の件 百周年図書館リニューアル など	宮本会計事務所
10.2	総会打ち合わせ	6	上野東天紅担当者と総会打ち合わせ 小川 他5名	東天紅 上野店
10.5	総会準備	3	資材の搬入 総会資料 垂れ幕名札等 小川 他2名	東天紅 上野店
10.7	101回墨水会総会	58	会員 男37人 女7人 他8人参加	東天紅 上野店
10.16	会計打ち合わせ	4	小川 谷澤 加藤 竹鼻	高校 同窓会室
10.17	学校運営連絡協議会	2	小川 梶原	高校 会議室
10.24	寮管理・運営	2	楽水寮 谷澤 清澤	楽水寮
10.30	寮管理・運営	3	七生寮 閉寮作業 谷澤他2名	七生寮
11.1	役員会	12	総会報告の件 役員係分担の件	すみだ生涯学習センター
11.10	会計打ち合わせ	4	小川 谷澤 加藤 竹鼻	高校 同窓会室
11.15	会計事務処理	4	小川 谷澤 清澤 加藤	宮本会計事務所
11.29	常任幹事会	17	総会報告(会計報告)の件 百周年記念事業の報告の件 七生寮及び楽水寮の件 など	高校 会議室
12.3	31回東京校歌祭	25	応援歌・校歌・川の流れのように	国立オリンピック記念 青少年総合センター
12.3	広報委員会	5	「墨水会だより」発刊準備 小川 清澤 横井 谷澤 山田	高校 同窓会室
12.22	広報委員会	6	「墨水会だより」発刊打ち合わせ 小川 清澤 横井 谷澤 山田 竹鼻 ㈱サラト	高校 同窓会室
令和6年				
1.10	広報委員会	5	「墨水会だより」校正 小川 清澤 谷澤 山田 竹鼻 ㈱サラト	高校 同窓会室
1.24	寮検討委員会	9	七生寮売却経過報告	すみだ生涯学習センター
1.27	墨汀会新年会	5	小川 清澤 谷澤 山内 山田	曳舟 養老乃瀧
1.31	広報委員会	5	「墨水会だより」最終校正 小川 谷澤 横井 山田 竹鼻	すみだ生涯学習センター
1.31	役員会	12	七生寮及び楽水寮の運営方針の件 百周年事業報告の件 新規入会者減少の件 など	すみだ生涯学習センター
2.7	常任幹事会	21	七生寮及び楽水寮の運営方針の件 百周年事業報告の件 新規入会者減少の件 など	高校 会議室
2.7	学校運営連絡協議会	1	小川	高校 会議室

日 時	会議・事業名	参加人数	議 題、内 容	場所、会場
2.13	新会員加入		76回卒業生196名入会 入会金1,568,000円 名簿代842,800円	
2.27	広報委員会	4	会報「墨水会だより」第31号 納品	高校 同窓会室
3.2	卒業式	5	小川 梶原 海谷 泉妻 横井	学校 体育館
3.11	会計打ち合わせ	4	小川 谷澤 加藤 竹鼻	高校 同窓会室
3.18	寮管理・運営	2	楽水寮 小川 谷澤 寮内清掃・周辺点検等	楽水寮
3.28	七星会	12	七星会役員改選、事業報告決算報告	すみだ生涯学習センター
4.4	役員会	11	墨水会加入の減少対策 本年度方針 総会の件	すみだ生涯学習センター
4.9	入学式	4	小川 梶原 海谷 横井	高校 体育館
4.10	常任幹事会	25	総会 七生寮の契約 楽水寮の新管理人及び運営管理について	高校 会議室
4.15	寮管理・運営	2	楽水寮 谷澤、小川 新管理候補者（館山サザンビレッジ）と面接	楽水寮
4.27	会計打ち合わせ	4	小川 加藤 他2名 ゆうちょ銀行取扱店変更手続きなど	高校 同窓会室
5.8	寮管理・運営	2	楽水寮 谷澤 清澤 管理人候補田中氏と細部面談 エアコン点検	楽水寮
5.10	高校体育祭見学	3	小川 加藤 竹鼻	足立区舎人公園競技場
5.10	会計打ち合わせ	3	小川 加藤 竹鼻 ゆうちょ銀行から定期貯金へ入金手続き	高校 同窓会室
5.15	寮管理・運営	2	七生寮 谷澤 清澤 管理契約 寮内点検など	七生寮
5.27	寮管理・運営	2	楽水寮 小川 谷澤 管理契約	楽水寮
5.29	役員会	12	総会準備 学校教育支援について 部活支援について 二寮について	すみだ生涯学習センター
5.30	学校運営連絡協議会	1	山田	高校 会議室
6.1	寮管理・運営	1	楽水寮 谷澤 宿泊予約受付開始（6.21 まで7組予約）	谷澤個人
6.5	寮管理・運営	2	楽水寮 谷澤 清澤 エアコン点検 シーツ・草刈り機搬入	楽水寮
6.14	卒業予定者の第一回入会案内	2	小川、野崎主幹教諭	高校 3年教室
6.17	七生寮売却交渉	3	軽井沢星野リゾートと折衝 小川 谷澤 海谷	星野リゾート
6.22	寮管理・運営	7	楽水寮 開寮準備 谷澤 杉崎他5名	楽水寮
6.27	七星会総会	11	理事会 事業報告決算報告 6年度事業計画予算承認	すみだ生涯学習センター

以下、令和6年度 活動途中経過

7.3	常任幹事会	22	総会 寮 校歌祭 その他（百周年寄贈品）関東大会補助（水泳部）	高校 会議室
7.10	会計打ち合わせ	3	小川 宮本 事務所職員 *総会準備	宮本会計事務所
7.13	墨田区「社会を明るくする運動」見学	11	高校吹奏楽部出演 小川 梶原 海谷 横井 加藤 宮本 杉崎 学校長 他3名	曳舟文化センター
7.15	寮管理・運営	1	楽水寮視察 管理人との運営打ち合わせ 谷澤	楽水寮
7.20	寮管理・運営		楽水寮 7.19~8.21 開寮（高校関係者のみ） 大人83人 子供15人	楽水寮
7.26	寮管理・運営	3	七生寮清掃など 谷澤 他45回生2名	七生寮
7.31	寮検討委員会	11	七生寮売却経過報告	すみだ生涯学習センター
8.17	七生寮売却交渉	3	軽井沢星野リゾートと交渉 小川 谷澤 海谷	FAXによる回答送付
8.21	寮管理・運営	1	楽水寮 閉寮 谷澤	楽水寮
8.22	役員会	10	総会準備 七生寮売却関連等	すみだ生涯学習センター
8.29	会計打ち合わせ	3	加藤 竹鼻 事務所職員 *総会準備	宮本会計事務所
8.30	会計打ち合わせ	3	加藤 竹鼻 事務所職員 *総会準備	宮本会計事務所
9.2	常任幹事会	22	総会全般（総会出欠往復はがき配布）の件 七生寮売却の件 東京校歌祭の件など	高校 会議室
9.3	会計打ち合わせ	3	加藤 竹鼻 事務所職員 *総会準備	宮本会計事務所
9.7・9.8	学校文化祭見学	2	清澤 鈴木	高校
9.11	会計打ち合わせ	3	加藤 竹鼻 事務所職員 *総会準備	宮本会計事務所
9.26	総会会場打ち合わせ	4	清澤 谷澤 山田 杉崎	東天紅 上野店
9.28	役員会	10	総会準備	すみだ生涯学習センター
10.3	総会会場物品搬入	3	清澤 山田 杉崎	東天紅 上野店
10.5	102回墨水会総会	52	会員46名 招待者6名（懇親会 会員44名 招待者6名）	東天紅 上野店

令和5年度 墨水会会計報告

収支計算書

令和5年7月1日から
令和6年6月30日まで

1 収入の部

(単位:円)

科目	金額	摘要
令和5年度卒業生入会金	1,568,000	196名×8,000円
名簿代(令和5年度卒)	842,800	196名×4,300円
寄付金	2,382,000	96名
利息	11,486	
当期収入合計(A)	4,804,286	

2 支出の部

科目	金額	摘要
会報	480,700	墨水会だより2,000部
名簿小冊子	144,447	300冊
百周年事業費	1,147,664	寄贈(吹奏楽部、ダンス部)、図書室テレビ等
通信費	351,190	郵送代(総会、会報)
会議費	333,174	常任幹事会、役員会、会場費等
渉外費	64,301	七星会、美汀会、墨汀会、慶弔費
総務費	476,000	担当業務費
会計事務費	660,000	総会資料作成費等
総会費	32,642	式次第作成費等
校歌祭費	60,000	参加費・広告代等
寄付金手数料	23,682	郵貯での寄付金受領の手数料
雑費	3,338	振込手数料等
当期支出合計(B)	3,777,138	

3 当期剰余金の部

科目	金額	摘要
当期収入合計(A)	4,804,286	
当期支出合計(B)	3,777,138	
当期収支差額(A)-(B)	1,027,148	
期首在庫品(C)	3,444,300	名簿 801冊×4,300円
期末在庫品(D)	2,601,500	名簿 605冊×4,300円
当期剰余金	184,348	(A)-(B)-(C)+(D)

繰越金計算書

前期繰越金	55,978,758	
当期剰余金	184,348	
次期繰越金		56,163,106

以上のとおり御報告申し上げます。

令和6年10月5日

墨水会 会長 小川 浩平
墨水会 会計 加藤 多恵子

開始残高

令和5年7月1日

1 資産の部

(単位:円)

定期預金	22,000,000	(一般口座 22,000,000)
普通預金	30,259,596	(一般口座 2,182,488) (寄付口座 12,852,448) (百周年経費用口座 6,355,505) (小口受渡用口座 1,000) (郵貯寄付口座 8,868,155)

現金	149,188
在庫品	3,444,300
仮払金	125,674

資産の部合計 55,978,758

2 繰越の部

繰越金	61,027,104
前期剰余金増加額	△5,048,346
繰越の部合計	55,978,758

閉鎖残高

令和6年6月30日

1 資産の部

(単位:円)

定期預金	22,011,296	(一般口座 22,011,296)
普通預金	31,520,316	(一般口座 2,766,729) (寄付口座 17,536,114) (百周年経費用口座 0) (小口受渡用口座 1,000) (郵貯寄付口座 11,216,473)

現金	29,994
在庫品	2,601,500
仮払金	0

資産の部合計 56,163,106

2 繰越の部

繰越金	55,978,758
当期剰余金増加額	184,348
繰越の部合計	56,163,106

監査報告書

墨水会定時総会議長 殿

令和5年度墨水会収支計算書及び諸帳簿関係書類を監査した結果、その数字は正確であり、かつ正当であった。

各帳簿、領収書、証拠書類の保存整理も整然としてあったことを御報告申し上げます。

令和6年10月5日

墨水会 会計監査 宮本 雄司
墨水会 会計監査 石井 温

令和6年度 墨水会予算

令和6年7月1日から
令和7年6月30日まで

1 収入の部

(単位:円)

科 目	予 算	前年度実績	増 減	摘 要
令和6年度卒業生入会金	2,000,000	1,568,000	432,000	入会者250名×8,000円 (前年度196名)
名簿代	1,075,000	842,800	232,200	購入者250名×4,300円
寄付金	1,300,000	2,382,000	▲ 1,082,000	
総会(懇親会)参加費	500,000	0	500,000	男10,000円、女8,000円×参加人数
利息	15,000	11,486	3,514	
収入合計	4,890,000	4,804,286	85,714	

2 支出の部

科 目	予 算	前年度実績	増 減	摘 要
墨水会会報	550,000	480,700	69,300	2,000部
名簿小冊子	170,000	144,447	25,553	300冊
通信費	350,000	351,190	▲ 1,190	総会開催通知、会報送料等
会議費	300,000	333,174	▲ 33,174	常任幹事会、役員会等
渉外費	70,000	64,301	5,699	七星会、美汀会、墨汀会、慶弔費
総務費	500,000	476,000	24,000	担当者交通費等
会計事務費	100,000	660,000	▲ 560,000	総会資料作成費
総会費	700,000	32,642	667,358	会場費、懇親会費、アトラクション謝金等
学校補助費	1,300,000	1,147,664	152,336	グラウンド用ベンチ、部活補助、図書購入補助
校歌祭費	60,000	60,000	0	参加費・広告料
寄付金手数料	20,000	23,682	▲ 3,682	
予備費	300,000	0	300,000	
雑費	20,000	3,338	16,662	
次年度繰越金	450,000	1,027,148	▲ 577,148	
支出合計	4,890,000	4,804,286	85,714	

令和6年10月5日

墨水会 会長 小川 浩平
墨水会 会計 加藤 多恵子

令和6年3月31日

一般財団法人七星会 会計

墨田川15回 竹鼻宏子

墨田川30回 宮本雄司

一般財団法人 七星会 収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

1 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	執行額	執行見込額	増減	備考
1. 事業収入					
七生寮収入	300,000	375,500	0	75,500	
楽水寮収入	1,000,000	968,000	0	△32,000	
2. 寄付金収入	0	0	0	0	
3. 預金利息	2,000	416	0	△1,584	
4. 雑収入	0	10,155	0	10,155	国税還付金・電柱敷地料
5. 定期預金取崩額		0	0	0	
当期収入合計	1,302,000	1,354,071	0	52,071	
前期繰越収支差額	5,302,593	5,337,669	0	35,076	
収入合計	6,604,593	6,691,740	0	87,147	

2 支出の部

科目	予算額	執行額	執行見込額	増減	備考
1. 事業費					
給料手当	800,000	200,000		△600,000	楽水寮管理人
臨時雇賃金	500,000	424,000		△76,000	
食糧費	0	0		0	
福利厚生費	10,000	5,944		△4,056	NHK受信料
通信運搬費	150,000	90,391		△59,609	
消耗品費	100,000	67,668		△32,332	
水道光熱費	1,000,000	434,274		△565,726	昨年度949,881円
保険料	150,000	160,260		10,260	火災保険(七生寮・楽水寮)
委託費	350,000	340,666		△9,334	星野リゾート管理料/浄化槽(七生寮・楽水寮)
雑費	150,000	29,202		△120,798	
事業費合計	3,210,000	1,752,405	0	△1,457,595	
2. 管理費					
会議費	40,000	61,200		21,200	
旅費交通費	350,000	462,000		112,000	
印刷製本費	0	0		0	
修繕費	200,000	702,053		502,053	
事務委託費	330,000	330,000		0	
租税公課	400,000	373,282		△26,718	固定資産税(七生寮) / 普通預金国税 / 満期利息国税
管理費合計	1,320,000	1,928,535	0	608,535	
3. 固定資産取得支出					
内外部改修工事支出	0	0	0	0	
什器・備品購入支出	100,000	0	0	△100,000	
固定資産取得合計	100,000	0	0	△100,000	
4. 施設維持積立金	0	0	0	0	
5. 法人税・住民税・事業税等	211,000	211,000	0	0	
支出合計	4,841,000	3,891,940	0	△949,060	
収支差額	△3,539,000	△2,537,869	0	1,001,131	

(参考) 損益

△2,537,869

0

第28回ご寄付の報告

墨水会事務局 17回 清澤 健一

今回は88名の方から204万6千円の寄付をいただきました。誠にありがとうございます。今までに頂いた寄付金も4千万円以上になり百周年事業や学校支援、寮維持でつかわせていただきました。

第28回寄付金一覧

令和6年1月より12月末

山田 温	28回	2万円
後藤 克弘	24回	2万円
岡元 雅義・文子	22回	2万円
村瀬 哲生	21回	2万円
清澤 健一	17回	2万円
谷澤 尚樹	15回	2万円
加藤 多恵子	15回	2万円
竹鼻 宏子	15回	2万円
木場 藤一郎	13回	2万円
林 綾子	9回	2万円
須藤 誠一	22回	3万円
小川 浩平	18回	5万円
村田 和夫	12回	10万円
海谷 利宏	1回	10万円
内宮 俊之	33回	100万円

村田 敏弘	9回	1万8千円
荒川 博	中23回	1万円
大滝 敏夫	2回	1万円
宮田 正則	2回	1万円
内田 博方	4回	1万円
岩楯 研治	4回	1万円
榎本 利春	4回	1万円
高橋 惇	4回	1万円
直井 勝	5回	1万円
宇佐美 恒明	8回	1万円
増田 吉雄	8回	1万円
井上 幹夫	8回	1万円
嵩根 一夫	9回	1万円
唐松 重義	9回	1万円
八木 三雄	9回	1万円
志村 恭子	10回	1万円
難波 直人	10回	1万円
小原 千恵子	10回	1万円
笠原 正明	11回	1万円
菊池 満雄	12回	1万円
保坂 一壽	12回	1万円
富田 角次郎	13回	1万円
吉野 行英	14回	1万円
内藤 和子	15回	1万円
大多和 幸子	15回	1万円

荒井 徹	15回	1万円
甲斐 定彦	15回	1万円
関口 力	15回	1万円
橋本 眞一	18回	1万円
塚越 健次	18回	1万円
志村 俊晴	20回	1万円
斉藤 よし子	22回	1万円
中井 佳子	22回	1万円
別所 正美	23回	1万円
末永 昌文	23回	1万円
鈴木 利根	24回	1万円
小野里 新一	24回	1万円
平山 等	24回	1万円
前田 清隆	24回	1万円
正村 和男	28回	1万円
宮本 雄司	30回	1万円
染谷 正人	35回	1万円
柳 秀樹	41回	1万円
中川 厚子	11回	8千円
佐藤 周一	26回	8千円
大木 善夫	中20回	5千円
高橋 士郎	6回	5千円
内藤 義弘	8回	5千円
荻野 芙美江	12回	5千円
福田 芳雄	12回	5千円

武藤 徹夫	13回	5千円
米山 至任	13回	5千円
大澤 けい子	18回	5千円
河野 その子	18回	5千円
黒田 幸子	21回	5千円
宮地 美知子	21回	5千円
堀越 萬里子	21回	5千円
由良 康治	21回	5千円
本保 礼子	23回	5千円
大槻 和男	23回	5千円
岩崎 健夫	23回	5千円
田中 香代子	25回	5千円
岩崎 美知子	26回	5千円
耀 良彰	26回	5千円
椿 淳子	28回	5千円
田中 昭江	11回	3千円
福島 一憲	13回	3千円
田口 和子	21回	3千円
日野 康子	43回	3千円
三宅 正高	13回	2千円
長澤 淑夫	28回	2千円
藤田 敏夫	48回	千円

美汀会会長 挨拶

和田 和代



令和6年度、第77回美汀会会長を務めております和田和代と申します。日頃より、墨水会の皆様には七高生が充実した学生生活を送るためのご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

創立百年を超える伝統のナンパー校である墨田川高校の変わらぬ校風と、大正、昭和、平成、令和と変わりゆく時代の中で、快適に過ごす生徒の姿、そしてそれを支えて下さるたくさんの方の教職員と卒業生の先輩方の熱い思いに感銘を受けております。そして保護者一同も子供たちが過ごす七高で、一つでも多くの充実した「瞬間」が訪れるよう、サポートをしてまいりたいと考えております。

至らない点もあるかと思いますが、今後とも一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

第32回東京校歌祭について

墨田川17回 清澤 健一

令和6年度の東京校歌祭は10月27日(日)午後十二時から杉並公会堂で開催されました。4年ぶりの会場ですが東京の西にある荻窪は小岩から総武線各駅停車で50分かかる遠くに感じる場所です。

校歌祭は、全体的に参加人数が減り19校の平均参加数は30人を割りました。

参加人数の多い学校は現役生徒が参加した三商、九段が60名、小松川、豊多摩高校も55名でした。

旧6学区からの参加校は両国、小松川、三商、墨田川の4校が参加しました。各校の出演時間は入退場含めて10分間あり、墨田川高校は休憩後の後半4校目の出演で、昭和30年代に作られた中島先生作詞の「応援歌」、滝廉太郎の「花」。幸田露伴作詞・弘田童太郎作曲の墨田川「校歌」を歌いました。終了後駅近くで反省会(懇親会)を開きました。

校歌祭終了後、杉並公会堂で共同の懇親会を開き各学校の代表や希望者70名が参加し、ピアノ伴奏にて歌の交流をして親睦を深めました。

令和7年度東京校歌祭は10月26日(日)杉並公会堂で行われます。墨田川高校同窓会も早くから人集めして、戦前から変っていない墨田川高校の「校歌」を広めていきたいと思っております。



亡き井上常一顧問 追悼文

墨水会の成長の親 有難う!

顧問(高1回) 海谷 谷利 宏



亡き井上顧問

高3回卒の井上常一さんが、令和6年3月31日に91歳の人生を全うされた。井上さんは、誰もが知る、誠に温厚で誠実、何事にも責任を持って取り組んで下さり、後輩の面倒を見て下さるまたとおられない素晴らしい方であった。

墨水会に赫赫(かくかく)とした成果を生み出し、残して下さった。その主たる実績は以下の通りである。

- ① 50歳前半から墨水会の幹事長を務められた。
- ② 私が会長を仰せつかった平成5年から10年間、太い右腕として協力して下さった。
- ③ その後平成16年から10年間、会長として全力投球をして下さった。
- ④ その後任の泉妻秀一会長の6年間、梶原徳二会長の2年間、現小川浩平会長の1年間に亘り顧問として私共を指導して下さいました。

その実績の大きさを具体的に紹介させて頂き、井上さんへのはなむけとさせて頂きたい。

1. 墨水会執行部の充実

私の会長就任後に、従来の副会長5名前後の構成では、学校への協力や墨水会会員の親睦・交流が十分に図れないとの危惧のもと、ご一緒に副会長10名制度を創設し、会の組織

2. 墨水会だよりの発刊

第1号の「墨水会だより」は昭和59年に会長代行高木四郎氏のもとでスタートし、今号で第32号を数えている。これは多数の会員に、学校現場の状況と墨水会の継続的な活動内容を紹介し、会員相互の親睦と連帯感を深めたいとの熱意のもとで平成9年の3月の第3号から発刊を継続している。井上さんは毎号の表紙に、校舎の紹介や学校周辺の歴史と風景を織り交ぜての写真を掲載し、代々の写真に合わせた歴史紹介をして下さった。(左が井上さん最後の表紙写真)



3. 二寮の維持への尽力

軽井沢の七生寮は、大正12年初代砂崎校長の開寮以来100年、館山の楽水寮は昭和36年以来60年、現役生徒校外活動の場、同窓生の憩いの場として年輪を重ねてきた。井上さんは、学校を軸とした卒業生の会員のために、私の知る限り50年以上に亘り、二寮の管理運営に尽力されてきた。私の会長時代に学校関係者から、維持管理の難しさを理由に二寮廃止論が出た際は、副会長として大変ご苦労され、この山場を無事に乗り切っていただいた。

蘇ってくる。七生寮近郷でのゴルフや観光など、思い出が尽きない。七生寮は老朽化し残念ながら閉鎖を余儀なくされ、館山の楽水寮改築による生徒活用の第一歩になる案が有力視されている。執行部の新世代への若返りと共に、新たな展望が開かれることになろう。井上さんがご存命であれば、どのような進展案を示されるであろうか。今は何う由もない。

宮本雄司氏(高校30回、墨水会会計監査)が 紺綬褒章を受章

宮本氏は、税理士として現在東京税理士会相談役を務める一方、墨水会役員(会計監査)として25年間、また二寮を管理運営する「七生会」の税務顧問・監事等として23年間務めてこられました。さらに、かつて32年間の保護司としての功績で藍綬褒章を受章したご母堂の遺志を継ぎ、墨田区の保護司として20年間

務め、地元墨田区に根を張り更生保護の様々な活動を継続展開し、社会貢献に尽力してこられました。これらの功績が評価され、令和6年度の紺綬褒章受章に至りましたので本誌面で紹介いたします。氏は「今後も地道に社会貢献活動に努めていきたい」と抱負を述べておられます。

合掌

同期会

昭和四十六年卒業(高校23回)

同期会のご報告

発起人代表 町田 茂

このほど《墨水会だより》担当理事の方から同期会の報告を依頼されました。発起人を代表して以下に述べさせていただきます。

後記のとおり同期会を開催しました。五十三年ぶりに初です。

まず西暦一九七一年卒業、当時の学校はどのようなものだったかについて話します。学生運動の終末期、学校群二年目(両国、小松川、墨田川へ自動ふりわけ)、毎年クラス替え、《族》の事実上解体といった状況です。墨田川高校卒業二十三回生です。さて開催のきつか



けは当時の山岳部員二名の再会が始まりです。部外者のわたしも同行します。待ち合わせは東向島、水戸街道沿い《味の横綱》前、しかし店は消えていました。タンメンを生涯食べられないと三人はがっかりしました。さらに向島を象徴する情緒ある旅荘《駒》?と薬局から伏見稲荷まで昭和の匂い漂う一角が開発の下に消滅、これにも大いなる衝撃を受けました。「もっと早く来るべきだった」の後悔は「元気なうちに会おう」を想起させます。すなわち横綱と東向島、二つのロスがその開催への動力を産んだのだらうと、わたしは感じています。

クラス幹事とは無縁な部員とわたしが動きます。同期生に声をかけると六名が賛同し、発起人会が結成されます。ライン交換(半年間連絡数一五〇〇強)、月一の定例会等で案を立て参加百名と予測、会場を探します。しかし近くにこれに見合う所は見つかりません。曳舟文化センターを訪れた会員が偶然に施設を見ます。九十名まで酒宴可能とあり、これで会場の目ぼしが立ちました。

つづいて広報、ネットは名簿です。個人情報保護と「困るわ」の一声でそれを断念しましたが、八人は一致団結します。電話、メール、ラインで人から人へ伝えるのは伝言ゲームのようでした。長年ご無沙汰の級友へどう切り出せばよいか。電話口で参加の返事を期待しながらも、ちもちする姿は、まるで大家さんに家賃滞納を願う学生のようなでした。

一方、食事は会の成功か否かを決する

ほどの大きな要素です。質と量を考えながら会費を設定します。参加しやすい宴会、自前で行うというスタンスを共通理解しました。諸般の事情を鑑みケータリングと決めました。それでも自前にこだわり手作りパンフ、顔写真つき名札、テーブルの花、案内板、パワーポイント利用など発起人八人の経験と知識をフル稼働させます。ホテル並み宴会エアを出したかったからです。

開宴五分、参加者の緊張は、料理に箸、酒くみ交わすとすぐ打ち解けました。握手と抱擁とおしゃべり、恰も原宿竹下通り然としたにぎやかさが場内を埋める一方で、涙なしでは聞けない悲話に頷く姿があつたりします。ゲームを楽しみ、校歌斉唱に拍手喝采、後ろ髪をひかれるおもいで終宴の挨拶。なごやかな時間、幹事役八人はほっと胸をなでおろすとともに出席率十五%を残念だとおもいました。

一方で新たな交流も生まれました。ワイヤークラフトの展示会や《金町ふれんず》ライブの案内、小説ごとき手紙往還の話題など枚挙に遑がありません。

*

この誌面で同期生へ連絡します。次回は二年後に予定しますのでクラス、部などを通じて案内周知の協力をお願いします。墨水会へ寄付は完了しました。写真は末尾QRコードをご活用ください。

皆さまが健康に人生を謳歌されますよう心よりお祈りします。

最後に亡くなられた同期の方々へ哀悼

の意を捧げます。拜

記

日時 令和6年10月5日(土)

午後1時~3時30分

場所 曳舟文化センター

レクリエーションホールA・B (参加 59名)

二次会 吾妻橋プラムドール

午後5時~午後7時(参加 33名)

発起人(重田、永林、下生、

杉山、百瀬、坂本、清水、町

田、すべて旧姓)



高校26回生 卒業50周年

同期会報告

26回生 文書代表(墨水会常任幹事) 上田大平

我々は昭和46年に入学しました。まだ学校群制度(昭和42年度~56年度実施)の中でしたが、個人としては、自由な校風でありかつナンバースクール旧七中・七校の伝統ある高校に入学でき、誇らしくもありました。

昭和49年に卒業し、今年50周年記念同期会を11月16日(土)に、亀戸アンジュリシオン(元平安閣)にて開催しま



した。A組、H組まで8クラス(卒業生約370人)から約100人が集まりました。会を運営する幹事の方々のご尽力の賜物です。

古希が近い我々は50年以上前の自分を重ね合わせながら、思い出話に盛り上がっていました。これまで、各々が多様な人生を歩んできましたが、改めて、高校3年間の貴重な時間を過ごしたこと、旧友との同じ思い出があったことなどを実感しました。クラスや部活動などが同じでなくとも、友人同士を介した間接的な繋がりがあり、会話も進みました。

本墨水会だよりをご覧の方々には、同期卒業生全体の集まりではなくとも、自分の周りの小さな集まりを持ち、その輪を広げていくことをお勧めします。互いの懐かしい高校時代の思い出の語り合いが、自分が忘却していることを出現させてくれることもあり、また自分の心の豊かさに繋がるのが期待できます。

高校26回生は、卒業20周年以降、30・35・40・45周年同期会を開催し、このたび50周年を迎えました。開催案内はハガキからメールに移行しつつあり、連絡可能率は約8割でメール連絡率は64%です。会の運営幹事には、企画・立案・案内などの準備、また会後の画像や返信ハガキ・返信メールのコメント集約と配信までしていただいております。また、この度、初のオンライン参加を取り入れ、国内から1名、海外から1名の参加もありました。

以上、同期を代表して報告させていた

だきました。同期幹事の方々及び墨水会だよりへの寄稿を促していただいた編集役員の方々に感謝申し上げます。

42回生 同期会報告

代表幹事 菊間建史

2024年8月3日、上野東天紅本店にて、42回生(1990年3月卒)の同期会を開催しました。前回の同期会は2000年の開催であり、実に24年振りの再会となりました。今回は、担任の先生方を含む134名もの参加があり、盛況のひとつを過ごしました。

円卓に着席した当初は少しぎこちない雰囲気が始まりましたが、会話の関係に戻り、クラスごとの席替えや懐かしの写真を使ったムービー上映が進むに連れて席を離れ活発に交流し、会場は終始賑やかな雰囲気になりました。

同期会にはプロのMCの藤原さんが務めていただく



も、彼も進行に手を焼くほどの盛り上がりでした。

最後には同期でカメラマンの大塚さんに記念写真を撮影していただきその後はグループごとの二次会へと散っていきました。皆の笑顔と懐かしい思い出が交錯する素晴らしい一日となりました。

墨蹴会(サッカー部OB・OG会)

95年祭の報告

墨蹴会 会長 山田 温(S51卒 高28回)

2024年6月1日(土)に、サッカー部創部95年祭を実施しました。学校創立7年後にサッカー部が創部され、95年が経ちます。OB・OGの人数は約1,000人です。5年前の2019年、コロナ禍直前に実施した90年祭の時点では、来るべき29年の百年祭を思い描いておりましたが、「百年祭まで元気でいられるか不安」「コロナ禍を超え久しぶりの交流を」などの声を先輩諸氏からいただき、また、百年祭に向けたスターを切る意味も込め、急遽、5年の節目の24年に95年祭を開催する運びとなりました。

準備期間が短かったため、5年間の公式戦の記録や関係顧問教諭や墨蹴会旧・現役員からのメッセージなどを集め、下段表紙のブックレット(14ページ)を作成しました。

当日は天候に恵まれ、午後、高校校庭で現役(1・2年生)とOBを交えた交流戦を数試合行い、見学者を含め約50名

のOBや元顧問の参加がありました。また、夕方の懇親会を向島百花園の御成座敷で開催し、46名の参加がありました。(左写真)

墨蹴会一同、現役員の一層の活躍を祈念し、また5年後の百年祭の成功に向け確実に準備を進めることを確認しました。5年後、百年祭の報告をこの誌面で改めて掲載させていただけるよう尽力してまいります。



高校校庭 集合写真 現役・OB



懇親会 百花園園庭から

付記:95年祭参加を強く望んでいた墨蹴会元会長 太田佳郎氏(墨水会常任幹事)が、体調不良で不参加、5日後の6月6日に逝去されました。



東京都立墨田川高等学校

第76回生 合格実績一覧

(2024年3月31日現在)
進路指導部

大学名	合格者
国公立	19
東北農林専門職大学	1
埼玉大学	3
埼玉県立大学	1
千葉大学	1
東京学芸大学	4
東京海洋大学	1
東京農工大学	1
東京都立大学	1
横浜国立大学	1
横浜国立大学	1
新潟大学	2
長岡造形大学	1
都留文科大学	1

大学校	2
防衛大学校	2

早慶上理	10
慶応義塾大学	2
上智大学	2
東京理科大学	6

GMARCH	53
明治大学	5
青山学院大学	9
立教大学	3
中央大学	12
法政大学	18
学習院大学	6

大学名	合格者
私大	585
成蹊大学	5
成城大学	11
獨協大学	20
國學院大学	10
武蔵大学	5
明治学院大学	13
日本大学	52
東洋大学	44
駒澤大学	15
専修大学	18
芝浦工業大学	9
東京都市大学	3
東京電機大学	15
工学院大学	1
大東文化大学	10
東海大学	7
亜細亜大学	11
帝京大学	11
国土館大学	9
津田塾大学	3
日本女子大学	3
東京女子大学	5
学習院女子大学	2
聖心女子大学	1
白百合女子大学	2
実践女子大学	5
大妻女子大学	18
昭和女子大学	1
共立女子大学	18
東京家政大学	7
フェリス学院大学	2

大学名	合格者
跡見学園女子大学	4
和洋女子大学	3
女子栄養大学	1
十文字学園女子大学	1
東京女子体育大学	1
日本体育大学	3
順天堂大学	6
北里大学	3
杏林大学	2
東京医療保健大学	2
東邦大学	5
国際医療福祉大学	1
東京有明医療大学	1
昭和薬科大学	1
東京薬科大学	1
星薬科大学	3
日本薬科大学	1
明治薬科大学	4
横浜薬科大学	1
日本獣医生命科学大学	4
麻布大学	2
東京農業大学	12
東京工芸大学	3
文教大学	27
玉川大学	7
明星大学	10
東京未来大学	3
立正大学	3
東京経済大学	4
二松學舎大学	12
大正大学	5
拓殖大学	2

大学名	合格者
桜美林大学	4
武蔵野大学	21
東京工科大学	5
帝京平成大学	1
帝京科学大学	3
目白大学	8
文京学院大学	7
城西国際大学	4
東京成徳大学	4
東京福祉大学	3
日本工業大学	4
城西大学	1
神田外語大学	2
千葉工業大学	26
千葉商科大学	2
淑徳大学	1
麗澤大学	10
神奈川大学	5
関東学院大学	1
つくば国際大学	1
同志社女子大学	1
京都女子大学	4

短期大学	2
上智大学短期大学部	1
帝京短期大学	1

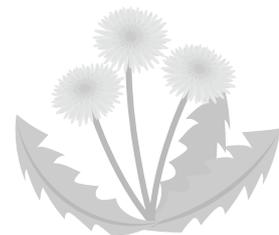
専門学校	8
看護医療系専門学校	3
その他の専門学校	5

高校76回生 進路状況

進路先	人数
四年制大学	226
短期大学	0
専門・各種学校	8
就職進学（大学校等）	1
公務員	0
民間企業	0
他（進学準備等）	30
合計	265

高校76回生 合格状況

国公立大学	19
国公立大学校等	2
国公立合計	21
早慶上理	10
GMARCH	53
その他私大等	585
四大等合計	669
短大	2
四大・短大合計	671
専門・各種学校	8
公務員	0
企業就職	0
他（進学準備等）	30



* 令和6年3月卒の高76回生は7クラス。
以前は8クラス。



海の寮の今昔

墨田川15回 谷 澤 尚 樹

表紙に百一年の歴史に幕を下ろした七生寮について記しましたが、ここでは海の寮の歴史について述べたいと思います。尚最終ページには建設された当時の楽水寮の写真掲載しております。

大正十二年(1923年)沼津市に静浦寮が建設され、毎年夏休みに十日間の水泳鍛錬や、補習授業が実施されました。静浦寮は昭和二十三年(1948年)に沼津市へ譲渡され、その後船橋市海神に逝川荘が購入されました。この寮は主として先生方の住居として使用されたようです。昭和三十六年(1961年)になって館山市浜田に楽水寮が建設され、臨海学校、移動教室、奉仕体験実習、合宿等で長い間使用されてきました。平成七年(1995年)迄は近所に住む田中さんに管理人をお願いし、食事を提供していただき、実施されてきましたが、平成五年(1993年)頃から財団法人七星会(二寮の運営母体)の財政面の問題や寮の老朽化に伴う改修等の問題で閉寮すべきではないかとの意見が一部の理事から出され

るようになりました。そのような状況の中、墨水会は今後の寮の維持、運営等について七中十五回の赤塚盛彦氏に経営診断をお願いした所、学校、美汀会、墨水会が協力して財団法人を運営してゆけば、今後も二寮の維持は可能であるとの診断をしていただきました。墨水会は今後財団に資金援助を含め積極的にたずさわってゆく事になり、楽水寮の大改修を行い(北側壁面のサイディング、水回りの改修、内装工事等)平成九年(1997年)から館山市のハローワークで紹介された何人かの中から堀川氏に管理人をお願いし閉寮しました。平成十三年(2001年)からは、堀川氏が健康上の理由で退職されたので、同様の方法で渋川氏にお願いましたが管理上の色々な問題が発生し、退職してもらおう事になりました。平成十七年(2005年)からは近所ので以前民宿を経営していた網代さんをお願いし令和四年(2022年)迄の十九年間お世話をいただきました。

この間、生徒の利用も臨海学校から移動教室、奉仕活動実習と形態は変わりましたが、二泊三日の日程で実施され、海水浴や夕食では班ごとにバーベキュー、カレーライスづくりを体験し楽しい思い出をつくってききました。平成二十七年(2015年)以後は生徒の利用は、残念ながらもなくなり(東京都の方針との事です)、又昭和三十五年に設立された財団法人七星会も平成二十一年に一般財団法人七星会に移行し一般の人にも開放し利用してもらう事になりました。この間エアコンを設置し、トイレの改修等施設の充実化を図って、年間開寮し、毎年四百名程度の利用者があり、順調に運営されてきましたが高齢の為、網代さんが退職され、令和五年(2023年)、令和六年(2024年)は七月下旬から八月下旬迄の夏季のみの開寮となりました。

楽水寮は築六十四年になり、その間色々リノベーションをしてまいりましたが、近年老朽化が進み建て替えの時期に來ています。墨水会では数年前に寮検討委員会を立ち上げ、今後の楽水寮の維持管理、運営方法について話し合ってきており、一般財団法人七星会に提言する予定です。尚現在一般財団法人七星会の組織から学校は離れ、墨水会と美汀会で組織され墨水会が主体となって運営されております。



大正12年建設の静浦寮



水泳鍛練風景

楽水寮



建設当時（昭和37年）海側から見た楽水寮



南側から見た楽水寮

七生寮



開所当時（大正13年）部屋から見た浅間山



中庭から見た七生寮

今年度の主な部活動実績

剣道部

関東大会予選 男子個人ベスト64

サッカー部

総体予選 東支部予選 ブロック決勝(3回戦)進出

柔道部

関東大会東京都予選 男子団体 ベスト16
関東選抜大会 男子個人 100kg超級 ベスト16

女子バレーボール部

春季大会予選 ブロック優勝(本予選へ)
春季大会本予選 2回戦進出(ベスト48)

水泳部

六学区大会
男子 総合優勝
女子 総合優勝
男女 総合優勝
*個人、リレー種目 多数入賞(1位19種目 2位12種目 3位6種目)

東京都春季大会

男子総合8位
男子100m平泳ぎ2位 女子400m自由形1位
男子4×100mメドレーリレー 8位
男子4×100mフリーリレー 7位

東京都新人大会

男子総合6位
男子100m平泳ぎ 2位、4位
女子100m自由形 5位
男子4×100mフリーリレー 6位
男子4×50mメドレーリレー 6位

東京都水泳大会

男子4×200m フリーリレー 8位 *関東大会出場へ
女子400m自由形 6位 *関東大会、全国大会出場へ
女子800m自由形 4位 *関東大会、全国大会出場へ

演劇部

城東地区新人デビューフェスティバル 最優秀新人女優賞

音楽部

NHK全国学校音楽コンクール 激励賞

吹奏楽部

東京都吹奏楽コンクール
A組：金賞 *都大会出場へ 都大会：銀賞
B組：金賞 最優秀賞

天文部

日本学生科学賞 東京都大会 努力賞

美術部

明るい選挙啓発ポスターコンクール
高校生の部 最優秀賞・優秀賞

文芸部

東京都高等学校文化祭文芸部門地区大会
短歌の部 佳作
東京都高等学校文化祭文芸部門中央大会
俳句部門 優秀賞1名 佳作2名
小説部門 生徒賞
関東地区高校生文芸大会
短歌部門 佳作

書道部

読書法展 入選2名
国際高校生選抜書展入選 4名
高円宮杯日本武道館書写書道大展覽会
<毛筆の部>日本武道館奨励賞 1名
日本武道館賞 3名 大会奨励賞 13名
<硬筆の部>日本武道館賞 1名 大会奨励賞 5名

編集後記

今号では、軽井沢の七生寮売却の関係で、七生寮・楽水寮につきまして表紙・裏表紙などで特集しました。また、同期会などの記事を復活させました。皆様から、よりよい墨水会だより発行に向け、ご投稿・ご提案を奮ってお寄せ下さいませよう、お願い致します。

墨水会広報委員長 二八回 山田 温
広報委員 十三回 横井 正雄
十五回 谷澤 尚樹
十五回 竹鼻 宏子
十七回 清澤 健一

「墨水会だより」 第32号